

教育課題演習 第 10 回 ガロア体 GF(2^m)

1. 共役根

m を正の整数とすると、GF(2)上の m 次既約多項式の根 a を利用して 2^m 個の要素からなる GF(2)の拡大体が作れる。 a は原始根であり、 $a^{2^m-1}=1$ である。この体を GF(2^m) で表す。

$P(x)$ を GF(2)の要素を係数とする多項式とすると、 $P(\beta)=0, P(\gamma)=0$ となる GF(2^m)の要素 β, γ を共役根という。

$P(x)=a_0+a_1x+a_2x^2+\dots+a_nx^n$ ($a_0, a_1, a_2, \dots, a_n \in \text{GF}(2)$) に対し $P(\beta)=0$ であるとする、

$$\begin{aligned} a_0^2 &= a_0, a_1^2 = a_1, a_2^2 = a_2, \dots, a_n^2 = a_n, \\ (a_0+a_1\beta+a_2\beta^2+\dots+a_n\beta^n)^2 &= a_0^2+(a_1\beta)^2+(a_2\beta^2)^2+\dots+(a_n\beta^n)^2+2(a_0a_1\beta+a_0a_2\beta^2+\dots) \\ &= a_0+a_1\beta^2+a_2(\beta^2)^2+\dots+a_n(\beta^2)^n \end{aligned}$$

だから、 $P(\beta^2)=0$ 。

すなわち、 β が $P(x)$ の根であれば、 β^2 は共役根である。

同様に、 β が $P(x)$ の根であれば、 $\beta^2, \beta^4, \beta^8, \dots$ も共役根である。

2. $x^{2^m-1}-1$ の因数分解

a は GF(2^m)の原始根で、 $a^{2^m-1}=1$ であるとする。

$$(a^2)^{2^m-1}=(a^{2^m-1})^2=1, (a^3)^{2^m-1}=(a^{2^m-1})^3=1, \dots\dots\dots$$

より、 $1, a, a^2, a^3, \dots, a^{2^m-1}$ は $x^{2^m-1}-1$ の根であるので、因数定理を用いると、

$$x^{2^m-1}-1=(x-1)(x-a)(x-a^2)(x-a^3)\dots(x-a^{2^m-2})$$

共役根を含む因数をまとめると GF(2)上既約な多項式の積の形に変形できる。

(1) $x^3-1=(x-1)(x^2+x+1)=(x+1)(x^2+x+1)$

(2) x^7-1 の因数分解

a を $1+x+x^3$ の根とする。

$a^7=1$ より、 $a^8=a$ なので、 a の共役根は、 a^2, a^4 であり、 $x^3+x+1=(x-a)(x-a^2)(x-a^4)$

つぎに、 a^3 の共役根を求める。 $(a^3)^2=a^6, (a^3)^4=a^{12}=a^5, (a^3)^8=a^{24}=(a^7)^3a^3=a^3$ なので、 $(x-a^3)(x-a^6)(x-a^5)$ が a^3 の共役根を持つ多項式。

$$\begin{aligned} (x-a^3)(x-a^6)(x-a^5) &= x^3 - (a^3+a^6+a^5)x^2 + (a^3a^6+a^6a^5+a^5a^3)x - a^3a^6a^5 \\ &= x^3 - \{(a^3+(1+a)a^5)\}x^2 + (a^9+a^{11}+a^8)x - a^3a^6a^{12} \\ &= x^3 - (a^3+a^8)x^2 + (a^2+a^4+a)x - a^{21} \\ &= x^3 - (a^3+a)x^2 + a(1+a+a^3)x - 1 \\ &= x^3 - (1+a+a)x^2 + a(1+a+a^3)x - 1 \\ &= x^3 + x^2 + 1 \end{aligned}$$

$$x^7-1=(x-1)(x-a)(x-a^2)(x-a^3)(x-a^4)(x-a^5)(x-a^6)$$

=